



「ほくろ」は^{いでん}遺伝するの

「ほくろ」のできやすい^{たいしつ}体質が^{いでん}遺伝する

お父さんやお母さんに「ほくろ」が多いと、子どもにも、「ほくろ」のできやすいといわれています。ですから、「ほくろ」のできやすい^{たいしつ}体質が、^{いでん}遺伝するといえそうです。

「ほくろ」はメラニンが^{あつ}集まったもの

人間の^{にんげん}体の^{からだ}皮^ひふには、^{すこ}少し^{いろ}色がついています。これは、^ひ皮^{すこ}ふの^{なか}少し^{なか}中の^{ところ}ところに、メラニンという^{しきそ}色素(色の^{いろ}つぶ)があるからです。「ほくろ」は、このメラニンが^{あつ}集まってできたものです。メラニンは、^{ふつう}ふつう、^ひ皮^{なか}ふの中に^{へいきん}平均に^{ひろ}広がっていますが、^{なに}何かの^{げんいん}原因で、¹1か^{しょ}所にかたまってしまうことがあります。それが、「ほくろ」です。

「ほくろ」は、^{おとな}大人になっても^き消え^ません。

「ほくろ」には、^{ちい}小さなものから^{おお}大きなものまであり、^{なか}中には、^でいぼのように^で出っ^ぱつて^っているものもありますが、「ほくろ」がなぜできるか、^{くわ}くわしいことは^わわかって^いいません。

「そばかす」も、ほくろと同じように、メラニンが^{あつ}集まってできたものです。しかし、そばかすは、^{おとな}大人になると、^き消えて^ししまう^ひ人^おが多い^{よう}ようです。

おじいさんやおばあさんになると、^か顔や^て手に「しみ」ができます。これも、メラニンが^{あつ}集まってできたものです。(監修・保志 宏)

